

とよきた

やる気 がんばり 思いやり

学校だより 第10号 R7.2.10
宇都宮市立豊郷北小学校 市川 文人



ホームページ QRコード

心をこめて ～ 感謝の会 ～

1月21日(火)、日頃からお世話になっている交通指導員さんを始め、地域協議会、自治会、民生委員、各種ボランティアの代表の方々をお迎えして、「感謝の会」を開きました。

児童代表の石田彩純さんのあいさつでは、登下校の安全や見守り、楽しい読み聞かせや美味しい給食へのお礼を丁寧に述べ、支えてくださる方々への感謝の思いが招待者の皆様に届きました。



また、招待者を代表して、首藤慎二様より「地域であいさつができる児童がとても多く、みんなから元気をもらっています。これからも続けてください。」と呼び掛けていただきました。

続いて、お手紙と花束の贈呈。「いつもありがとうございます。」「これからも見守ってください。」等、思い思いの感謝の言葉を一言添えて、手渡しました。

最後に、全員で「ありがとうの花」を合唱。感謝の思いを乗せた全校児童の歌声が会場いっぱいに響き渡り、あちらこちらにありがとうの花が咲きました。

ピョンピョン跳びっ子大会！

1月27日(月)の昼休み、毎年恒例の「ピョンピョン 跳びっ子大会(8の字跳び大会)」が開かれました。

この日を目指し、体育の時間や休み時間に練習を重ねてきた子供たち。校庭は熱気にあふれていました。一分間の練習開始。回る縄の中を、一人ずつリズムカルに跳んでは抜けていきます。



練習を終え、いよいよ本番！緊張が走ります。

「用意、始め！」「イチ・ニ・サン・シツ」子供たちは、声を合わせリズムに乗ってピョンピョン跳んでいきます。後半は「ハイッ・ハイッ・ハイッ・ハイッ」と、掛け声を変え、ますます勢いに乗っていきます。途中で引っかかっても「ドンマイ！」「大丈夫だよ。」と励まし合う子供たち。チームワークもバッチリです。

「終了！」あっという間の三分間の熱戦を終え、新記録達成に「ヤッター！」と、歓声を上げるチームもあれば、思うような結果が出せず落胆するチームも…。

それでも、「心一つ」にして精一杯回し、そして、跳び続けた子供たちの姿は、一回り大きく見えました。

以下、ブロックごとの優勝チームです。

《 優勝チーム 》

☆ 低学年ブロック「大なわ さい強」	158回
☆ 中学年ブロック「チーム丸!! 俺たちは最強だぜ！」	243回
☆ 高学年ブロック「Shirato JAPAN」	345回



英語で「読み聞かせ」

1月24日(金)の業間休み、ジェシカ先生と石川くるみ先生による英語の大型絵本を使った「読み聞かせ会」が開かれました。

タイトルは、「Dear Zoo」



この絵本は、仕掛け絵本になっていて言葉もシンプルです。また、ジェシカ先生の話術とジェスチャー、くるみ先生との巧みなやり取りに、子供たちは大盛り上がり。

更に、送られてきた動物が何かを当てるクイズ形式で話が進むため、子供たちは、「わかった！」「はいっ、はいっ」と、積極的に挙手し、「Lion」「Giraffe(キリン)」等の動物を言い当てていました。

よく聞き思わず話したくなるような楽しい「読み聞かせ会」となりました。

今後も、楽しみながら英語に慣れ親しむ場を設定してまいります。



学校保健・給食委員会

1月29日(水)、学校医の小澤武史先生をお招きし、また、PTA 役員・保健体育委員長・各学年委員長の皆様にご参加いただき、「学校保健・給食委員会」を開催しました。

給食試食会に続き、本校の食育・体力・保健の状況を報告。

最後に、小澤先生より「がん教育」について、ご講話をいただきました。

日本人の二人に一人の割合で発症する癌。そして、癌患者の三分の一の方の命が奪われてしまうことから、予防の大切さ、特に生活習慣(喫煙・飲酒・運動量等)の見直しの大切さを教えていただきました。また、ウィルスが原因となることも多いことから、適宜、ワクチンを接種することの重要性も呼び掛けられました。

小澤先生は、市内の小学校を訪問し、高学年の児童を対象に「がん教育」の講話をされていて、来年度以降、本校でも、ご講話をいただく機会を、是非もちたいと考えています。



学校・地域に広がるあいさつ！

活動①「みんなであいさつ運動」

「おはようございます！」昇降口では、今日も子供たちの爽やかなあいさつで仲間を迎え入れています。

昨年度から開始した「みんなであいさつ運動」には、希望者はだれでも参加でき、当初は数名だった参加者も、今では、40名を超える参加者に拡大しています。

1月31日(金)の気温は、-3℃。吐く息も白く凍てつく寒さを物ともせず、子供たちは、元気いっぱいにあいさつ運動を展開していました。一番にやってきた2年生トリオに毎日参加している理由を訊ねてみると、「笑顔であいさつを返してくれて嬉しいから。」「声を出すと気持ちいいから。」「自分が元気になれるら。」と、口々に答えてくれました。その言葉から、「宇都宮で1番！あいさつで1番！」を目指す豊北小の原動力は、一人一人の自主的・主体的な取組にあることを実感でき、嬉しい限りです。



5月10日(金)に結成した第2期「あいさつ広げ隊」の今年のテーマは、「地域に広げようあいさつの輪」でした。

この活動を「見える化」するために、大型の地域マップを作成。地域の方とあいさつを交わす度に、地域マップにシールを貼っていきました。以来、現在までに積み重ねてきた数は、596枚。広げ隊の子供たちは、596回のあいさつを地域で交わしました。

また、吉田陽菜隊長を中心に、広げ隊オリジナルの缶バッジを作成することになり、増々志気が高まっています。

豊北の子供たちは、隊員でなくても地域で自分からあいさつをする児童が多く、「あいさつの輪」は、地域に大きく広がっています。

活動②「あいさつ広げ隊」



缶バッジデザイン



猟友会の方から



近隣でイノシシの目撃情報があったためパトロールしていると、北小の男の子から、「ありがとうございます。寒いのでお身体を大切にしてください。」と、声を掛けてもらい、感激しました。

お褒めの言葉



養護教諭の先生にお会いするため、保健室前の廊下で待っていると、通りかかった6年生が、「こんにちは！」と、目を合わせてあいさつしてくれました。それが、一人や二人ではなく、通りかかった子供たち全員なので驚きました。

他校の先生から

第4回「地域協議会」

2月7日(金)、今年度最後の「第4回地域協議会」を開催しました。

冒頭、五月女正典会長のあいさつでは、素敵なお話が紹介され、温かい雰囲気になりました。(詳細は、本校ホームページの中の、学校日誌「第4回『地域協議会』を開催！」に掲載)

続いて、校長より、今年度の成果と課題を踏まえ、来年度の重点的な取組として「本校の強み(自然・人材・人脈)を生かした教育の推進」と「持続可能な社会への興味・関心の向上」が提示されました。



また、意見交換では、「見守りボランティア等、地域の方々に広くボランティアを募りたい。」「通学路への車の侵入は極力避けるよう、共通理解を図りたい。」「最近、瓦谷公民館西側でシカが発見されたので、十分注意してもらいたい。」等、様々なご提案や情報をいただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見を、今後の学校経営に生かしてまいります。

役員・委員の皆様、一年間大変お世話になりました。



「とよさとのうた ♪」レコーディング

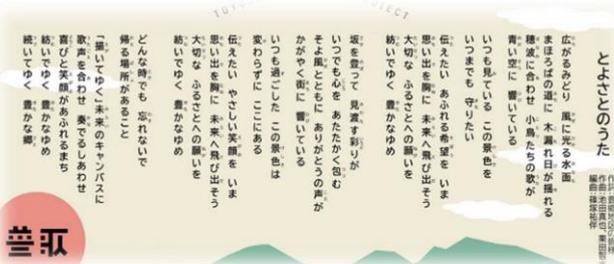
「広がるみどり♪ 風に光る水面 ♪」1月22日(水)昼休み、「とよさとのうた」の歌声が体育館に響き渡りました。

昨年、「豊かな郷づくり推進協議会」(首藤慎二会長)で作成した「とよさとのうた」の収録が、本校でも行われたのです。

この日は、全校児童の中から希望者75名が参加。歌詞の意味を考え、情景を思い浮かべながら心を込めて歌い上げました。子供たちは「緊張したけど楽しく歌えました。」「練習より上手に歌えました。」と、満足そうでした。



収録担当の方からも、「よく声が出ていましたね。」と、お褒めの言葉をいただきました。最後に皆で満面の笑みを浮かべながら手を振り、収録が終了！CDの完成が楽しみです。これからも、機会あるごとに「とよさとのうた」を歌い、慣れ親しんでいきたいと思ひます。



誉取